

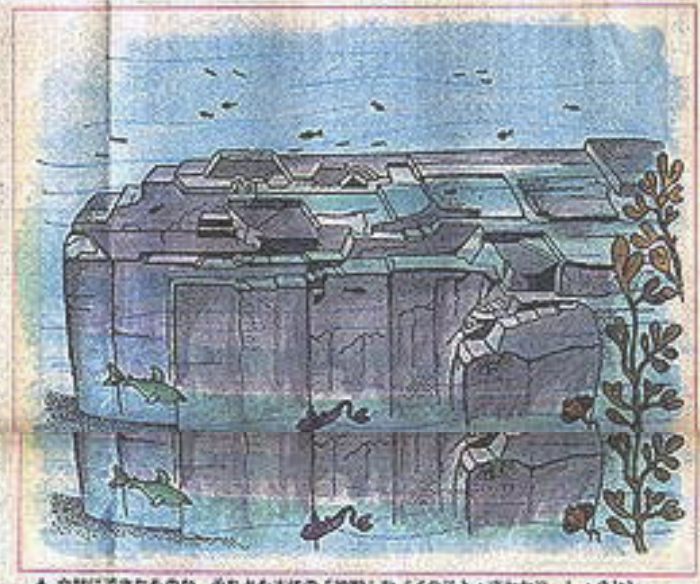
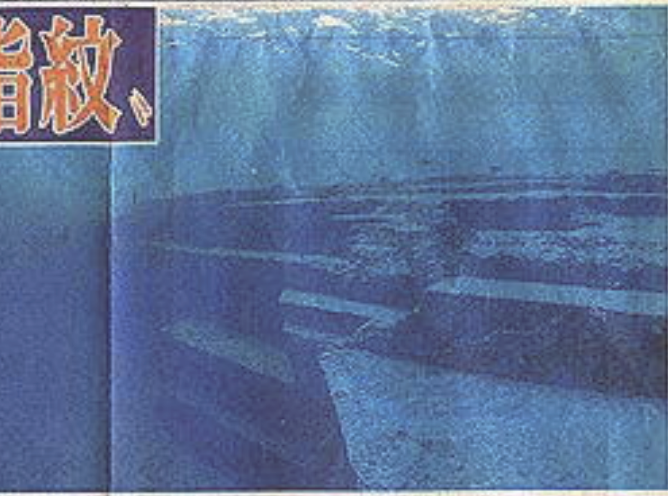
# 沖繩の海底に 神々の指紋

沖繩県那覇市沖の海に、神秘的な海底遺跡が広がっている。それは、神々の指紋と見られる。沖繩県那覇市沖の海に、神秘的な海底遺跡が広がっている。それは、神々の指紋と見られる。



# 「ジュニア」があった!!

# 1万年前の「神」の「神殿」なのか



▲ 自然にできたものか、それとも古代の「神聖」か (イラスト: きたむら しょうじ)

沖繩県那覇市沖の海に、神秘的な海底遺跡が広がっている。それは、神々の指紋と見られる。沖繩県那覇市沖の海に、神秘的な海底遺跡が広がっている。それは、神々の指紋と見られる。

沖繩県那覇市沖の海に、神秘的な海底遺跡が広がっている。それは、神々の指紋と見られる。沖繩県那覇市沖の海に、神秘的な海底遺跡が広がっている。それは、神々の指紋と見られる。



Calbee logo and website information: <http://www.calbee.co.jp/index.html>



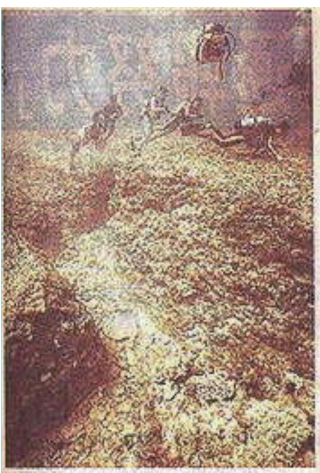
カルビーという言葉を聞けば、だれしもポテトチップスとすくぞうする。このポテトチップス、日本で初めて開発されたのは、群馬県後だという。「リンゴの皮」によって、薄切されたリンゴにコーラ、片手にポテトチップスを握り締めていたのが原形だという。

洪水伝説を証明? ... 沖繩県那覇市沖の海に、神秘的な海底遺跡が広がっている。それは、神々の指紋と見られる。沖繩県那覇市沖の海に、神秘的な海底遺跡が広がっている。それは、神々の指紋と見られる。

# 海と生きる

● 27

「海と生きる」は、沖縄の歴史をたどる。古くは縄文時代の遺跡から、琉球王国の隆興と没落まで、沖縄の歴史をたどる。そして、戦後の沖縄の歴史をたどる。そして、沖縄の未来をたどる。



縄文時代の遺跡から、琉球王国の隆興と没落まで、沖縄の歴史をたどる。そして、戦後の沖縄の歴史をたどる。そして、沖縄の未来をたどる。



## 良の石積み

古代都市の構築物。沖縄の歴史をたどる。そして、沖縄の未来をたどる。

## 濃紺の海に眠る巨大遺跡

## 島経済の起爆剤に ロマン求めるダイバー

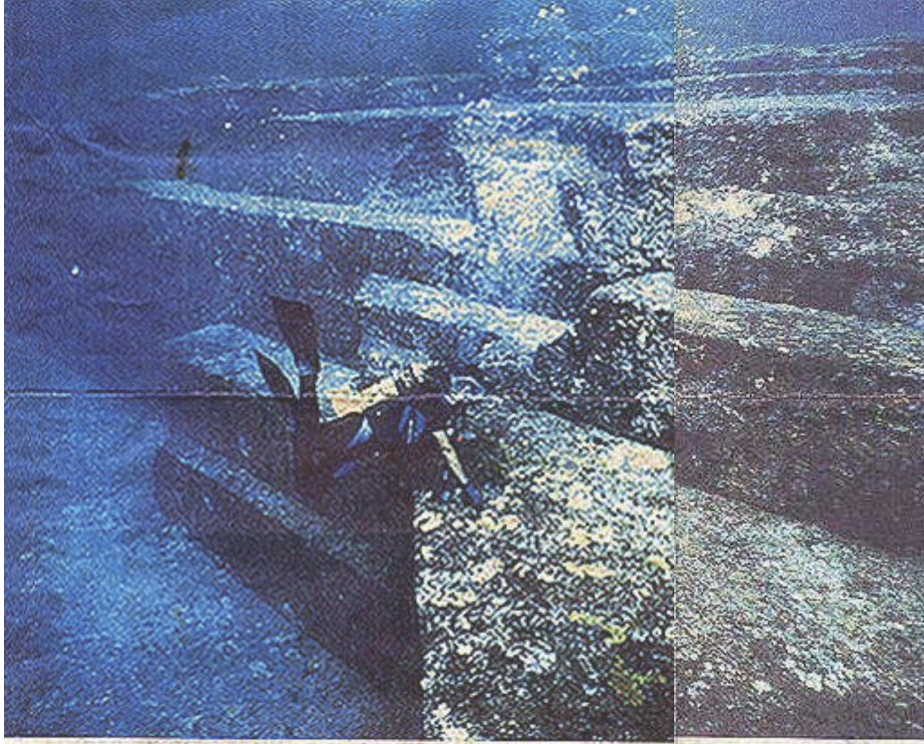
「濃紺の海に眠る巨大遺跡」は、沖縄の歴史をたどる。そして、沖縄の未来をたどる。

### 全共闘

### 地殻変動で水没か

「全共闘」は、沖縄の歴史をたどる。そして、沖縄の未来をたどる。

「濃紺の海に眠る巨大遺跡」は、沖縄の歴史をたどる。そして、沖縄の未来をたどる。



# 海と生きる

81

## 古代の石積み

急流洗う巨大な

石積み遺跡の発見は、沖繩県豊見城町の「急流洗う巨大な石積み遺跡」で、約1500年前のものと推定されている。この遺跡は、急流にさらされながらも、石を積み上げた構造で、その規模は、長さ約100メートル、幅約10メートルに達している。また、この遺跡の発見は、沖繩県の歴史をさらに深く掘り明かすことにつながると期待されている。

この遺跡は、急流にさらされながらも、石を積み上げた構造で、その規模は、長さ約100メートル、幅約10メートルに達している。また、この遺跡の発見は、沖繩県の歴史をさらに深く掘り明かすことにつながると期待されている。

# 「神殿」



沖繩・与那国島

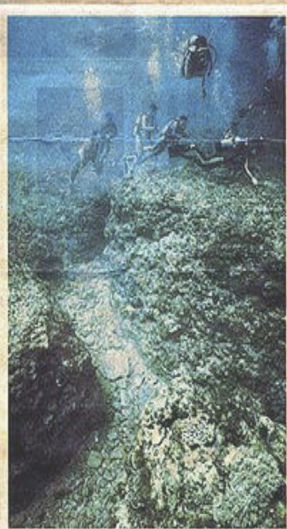
層状の岩が噴たわりダイバーの注目を浴びている沖繩・与那国島の「遺跡ポイント」。岩角は鋭く、人工の建造物のように見える

「神殿」の発見は、沖繩県豊見城町の「急流洗う巨大な石積み遺跡」で、約1500年前のものと推定されている。この遺跡は、急流にさらされながらも、石を積み上げた構造で、その規模は、長さ約100メートル、幅約10メートルに達している。また、この遺跡の発見は、沖繩県の歴史をさらに深く掘り明かすことにつながると期待されている。

沖繩の海底遺跡

鍾乳洞や石器を発見

沖繩県豊見城町の「急流洗う巨大な石積み遺跡」で、約1500年前のものと推定されている。この遺跡は、急流にさらされながらも、石を積み上げた構造で、その規模は、長さ約100メートル、幅約10メートルに達している。また、この遺跡の発見は、沖繩県の歴史をさらに深く掘り明かすことにつながると期待されている。



目撃がストーンサークル状に並ぶ潜水ポイントに潜るダイバー (沖繩県豊見城町、約1500年前)

毎週月曜日に掲載します